

生命医科学部 医工学科
アドミッション・ポリシー（転入学・編入学試験）

医工学科では、医療、福祉、健康など「生命」に関連する幅広いフィールドに存在するさまざまな課題を、機械工学および医学の複眼的視点を持って解決することのできる技術者や研究者を養成することを目的としています。そのために、次のような学生を求めています。

医工学科の求める学生像

知識・技能

生命医科学に関連する基礎医学や機械工学の専門知識を得るために必要な、自然科学に関する基礎学力を有する学生を求めています。

思考力・判断力・表現力

日本語および英語での論理的思考能力と、プレゼンテーション能力、コミュニケーション能力の習得を目指す学生を求めています。

主体性・多様性・協働性

生命医科学に幅広い関心と向上心を持ち、自ら課題を発見し、解決する能力の習得を目指す学生を求めています。

グローバル社会における人や文化の多様性を尊重し、生命医科学に関する知識をもって、主体的に社会貢献する能力の習得を希望する学生を求めています。

多様性に富んだ集団でも能力を発揮し、協調して課題を解決できることを目指す学生を求めています。

国際社会に通用する技術者・研究者となることを目指す学生を求めています。

大学2年次修了時までの学習で身につけてほしいこと

医工学科での専門性を身につけるための前提となる幅広い教養、数学・力学・生物学などの医工学分野に関する基礎科目、設計製図・材料力学・プログラミングなどの機械工学専門科目の習得が望まれます。

大学3年次での学習に必要な論理的思考力、他者との関係構築に必要なコミュニケーション能力、レポート作成やプレゼンテーションに必要なアカデミックスキルを身につけておくことが望まれます。

医工学科において学ぶ意欲と向上心を持ち、主体的に行動する姿勢等を身につけておくことが望まれます。

入学者選抜制度

第3年次転入学・編入学試験

日本国内や外国の4年制大学の第2年次修了（見込）者、短期大学卒業（見込）者、高等専門学校卒業（見込）者、および専修学校専門課程修了（見込）者など、大学等の教育機関で2年次まで修学し、さらに医工学科での専門性を身につけることに対する明確な目的と強い意欲および能力を備えた人物を選抜するために、成績証明書等では既修単位（見込みを含む）および成績等、筆記試験では医工学科での専門性を身につけるための「知識・技能」が備わっているか、志望理由書では「思考力・判断力・表現力」が備わっているか、口頭試問では「主体性・多様性・協働性」が備わっているかなどを適正に評価しています。とりわけ、本入試においては、医工学科での専門性を身につけることに対する明確な目的および強い意欲、機械工学と医学の融合分野への適応性を備えているかについての評価に重点を置き、専門科目に関する筆記試験（数学）、口頭試問等を通じて審査しています。